

設備工事情報シート	空調	I-A-8	制定	2016年3月1日
			改訂	2018年11月13日
施工要領	冷媒管等の防火区画貫通部の処理 (イチジカンAPK)		古河テクノマテリアル編	

1. 目的・概要

冷媒管（被覆銅管）等が防火区画の壁・床を貫通する部分には、定められた耐火性能をもった防火措置を行うことが義務付けられている。これらの防火措置工法は、メーカーや工法毎に施工上のポイントが異なる。以下に、(株)古河テクノマテリアルの冷媒管等防火区画貫通措置工法（イチジカンAPK）を紹介する。

2. イチジカンAPKの特徴

(1) 汎用性

ひとつの製品であらゆる構造（床、壁（RC・ボード等））の貫通部に対応可能。
（※ 中空壁の貫通には別途鋼製スリーブ（板厚0.25mm以上）が必要。）

(2) 施工性

寒くなくても硬くならないパテを使用、年間通じて良好な施工性となっている。また素手で扱ってもベタついたり手が黒く汚れたりすることもない。



施工画像（中空壁貫通）



キット梱包内容

(3) 空調用配管に広く適用

銅管だけでなく、アルミ管にも対応。
また各種ドレン管にも対応し、1開口にまとめて貫通可能。

図-1 イチジカンAPK製品概要

(4) 余裕の配管収容力

床・壁の外側だけでの処理なので、開口を有効に使うことが出来る。
3WAY配管の貫通も可能な認定を取得（配管占積率60.9%以下）。

(5) 施工時間短縮

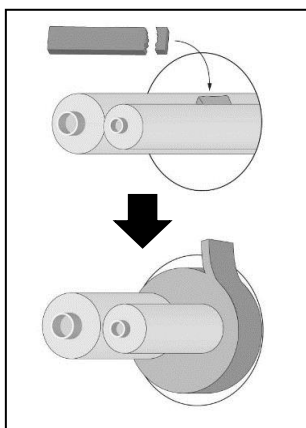
パテをシート状に成形したので、「巻き付ける」施工が可能。パテをちぎって詰めるよりも大幅に施工時間の短縮が可能。

3. 施工手順およびポイント

(1) 施工前確認

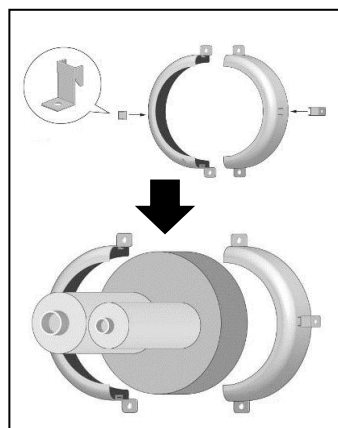
貫通配管および占積率を確認。コンクリート床・壁の場合はビス用下穴を設置する。

(2) パテの巻き付け



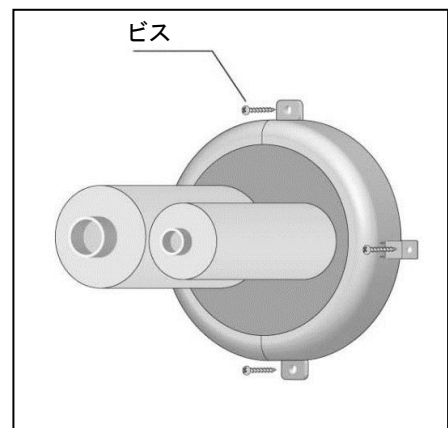
パテを適当な長さに切り、配管の谷間を埋める。
その後、パテを配管周囲に巻き付ける。

(3) 押さえ金具の設置



中空壁の場合は「中空壁用固定金具」を取り付け、パテを巻きつけた配管の両側から押さえ金具を取り付ける。

(4) ビスの取り付け

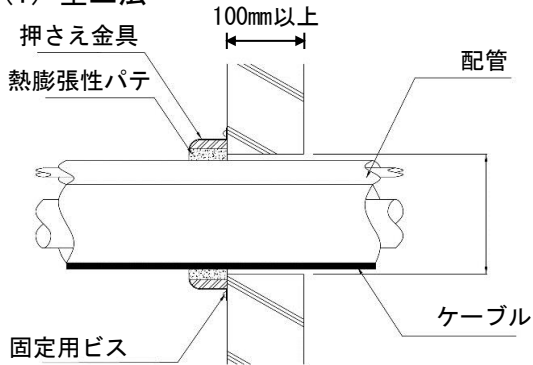


付属のビスで押さえ金具を床・壁に取り付ける。
パテ設置面に隙間がある場合や表面に凹凸がある場合は残ったパテで仕上げる。

資 料

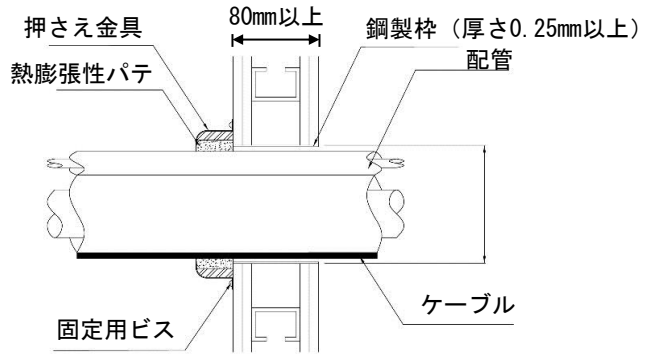
4. 工法別施工断面図

(1) 壁工法



国土交通大臣認定番号：PS060WL-0686

(2) 中空壁工法



国土交通大臣認定番号：PS060WL-0688

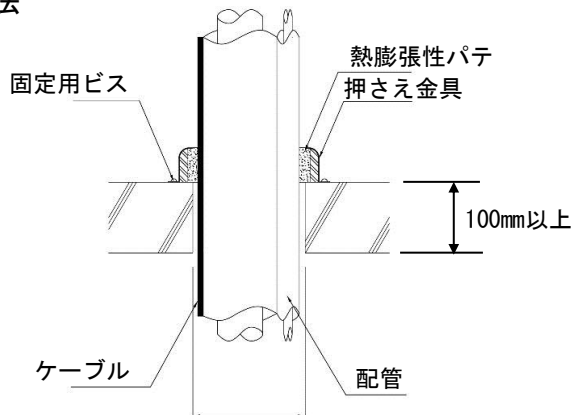
※片壁（吉野石膏㈱様製品

(3) 床工法

「Sウォール」等）の場合は、壁厚42mm

以下、国土交通大臣認定番号は

PS060WL-0689 となる。



国土交通大臣認定番号：PS060FL-0687

5. 認定条件（一部抜粋）

配管の種類	配管サイズ（呼び径/mm）	配管の占積率	付属する電線・ケーブル
断熱被覆銅管（冷媒管など）	最大：金属管外径φ50.8、断熱被覆20まで可	60.9%以下	電線・ケーブルの 導体断面積： CV-T 38mm ² 相当以下
断熱被覆アルミ管（冷媒管など）	最大：金属管外径φ38.1、断熱被覆20まで可		
断熱被覆硬質塩化ビニル管	最大：呼び径50、断熱被覆6まで可		
ドレンホース	最大：呼び径16		
断熱ドレンホース	最大：呼び径25		
結露防止層付硬質塩化ビニル管	最大：呼び径50		
合成樹脂製可とう電線管	最大：PF管呼び径36、CD管呼び径36		

6. 問い合わせ先

（株）古河テクノマテリアル

部 署	TEL	FAX	URL
本社 防災事業部	0463-24-9341	0463-24-9346	http://www.furukawa-ftm.com/bousai/